様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　8　年　4　月　15　日

群馬県知事　　山本　一太　様

提出者　　〒377-0883
住　所　群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町160

氏　名　池原工業株式会社 代表取締役 池原　純

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0279-68-7111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	池原工業株式会社　東橋工場
事業場の所在地	群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町246
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　中分類:窯業・土石製品製造業
②事業の規模	売上高　５億４千７百万円
③従業員数	１5名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	洗い分別 ↑ 生コン製造→運搬→荷卸し→戻りコン　→　コンクリートくず ↓ エコブロック製作 アスコン製造→運搬→荷卸し→戻りアスコン→アスコンくず

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

取締役工場長（総括責任者）

本社　土木部技術課（廃棄物担当者）

工場　製造営業課（廃棄物管理責任者）

産業廃棄物責任者：・産業廃棄物の適正処理推進．産業廃棄物に関する事項の決定推進

廃棄物担当者：・委託契約に関する管理．各担当者へ情報提供．教育．研修
マニフェストの集計及び保管

廃棄物管理責任者：・収集運搬業者、処理業者の選定及び契約．監督官庁への報告、
マニフェストの発行及び管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
	排　出　量	1,478.57　t	0.630　t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物の適正処理を確保するため、関係法令、その他規則を遵守する。 ・製造工程における不良品の抑制、納入して不要になり持ち帰ったコンクリートによるエコブロックの製作		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
	排　出　量	1,350.00　t	1.000　t
	（今後実施する予定の取組） ・購入者へ戻りコンクリートは有料化として、発生抑制を促す。 ・戻りコンクリートを利用したエコブロックの製作		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 生コンくずとアスコンくずを分別している
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 生コンくずとアスコンくずを分別している

木くず	紙くず	廃プラスチック類	
0.39 t	0 t	2.63 t	t

木くず	紙くず	廃プラスチック類	
1.00 t	1.00 t	3.00 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="4">【前年度（令和7年度）実績】なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（これまでに実施した取組）なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="4">【目標】なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="4">【前年度（令和7年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず</td><td>汚泥</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>1,478.50 t</td><td>0.63 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0.63 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>1,478.50 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（これまでに実施した取組）
・産業廃棄物の適正処理を確保するため、関係法令、その他規則を遵守する。
・処分の委託について、処分業者と適正な委託契約を締結し、収集運搬から処分に至るまでを電子マニフェストにより確認し管理する。</td></tr>
</table>

t	t	t	t

t	t	t	t

木くず	紙くず	廃プラスチック類	
0.39 t	0 t	2.63 t	t
0 t	0 t	0 t	t
0.39 t	0 t	2.63 t	t
0 t	t	t	t
0 t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
全処理委託量	1,350.00 t	1.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1.00 t
再生利用業者への処理委託量	1,350.00 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

・産業廃棄物の減量に向け社内、社外に対する啓蒙を推進する。

・エコブロックの型枠を増やし、製作個数を増やす。

※事務処理欄

木くず	紙くず	廃プラスチック類	
1.00 t	1.00 t	3.00 t	t
0 t	0 t	0 t	t
1.00 t	1.00 t	3.00 t	t
0 t	0 t	t	t
0 t	0 t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。